



令和6年1月25日発行 第11号 文責 阿部 弘

## 学校評価アンケート結果をお知らせします

令和6年、そして3学期が始まって1ヶ月が過ぎようとしています。能登半島では元日の大きな地震により犠牲となった方の数は増え続け、海岸線の隆起等の驚くべきニュースばかりで、被災された皆さんや地

### R5 児童振り返り(前期後期の比較)

質問項目	R5 後期評価点	R5 前期評価点
1 学校が楽しい	91.5	90.0
2 授業よくわかる	86.8	83.2
3 家も学校もよく本を読む	58.8	61.1
4 家庭学習	90.8	87.9
5 英語学習楽しい	86.8	90.0
6 しっかり話を聞く	94.1	90.7
7 ICT 学習頑張った	90.1	87.1
8 授業後振り返り	89.3	86.4
9 地域へのあいさつ	91.9	92.5
10 家庭コミュニケーション	87.1	81.4
11 友だち関係	94.2	92.9
12 交流活動は楽しい	93.0	94.6
13 掃除時間いっぱい	89.0	90.7
14 道德での交流	89.0	86.1
15 あたたかい言葉遣い	86.0	86.8
16 難しいこともあきらめない	90.8	86.4
17 行事進んで参加	93.0	88.2
18 健康的な生活	89.7	83.2
19 伊吹小の行事自慢できる	90.4	91.1
20 先生はほめてくれる	92.6	90.4
21 先生は話をきいてくれる	95.2	93.6
22 登下校の安全	94.1	94.3

前期と比較し、3ポイント以上アップ

前期と比較し、3ポイント以上ダウン

評価点：{そう思う}100点{大体そう思う}75点{あまりそう思わない}25点{思わない}0点として得点化しています。

域の復旧は進んでいません。一日も早い復興をお祈りいたしますとともに、この機会に、私たちも心の備えをしなくてはなりません。

さて、令和5年度の学校評価アンケートについて、前期(1学期末)と後期(2学期末)を比較しながら、伊吹小学校の現状や課題を考察してみたいと思います。

まずは児童アンケートです。左の表にありますとおり、2学期に評価をぐんと上げた項目が多いですし、6割の項目で90%以上の評価となっています。運動会や伊吹フェスティバルといった大きな行事を中心に、子どもたちが意欲を持って活動することで、自信を高めている様子がかがえます。

特に、3ポイント以上アップした項目が8項目もあったことはうれしい限りですし、特に、項目10「家庭コミュニケーション(家の人に自分のことや学校であったことなどを話している)」がぐんと伸びた点は、保護者の皆様のご協力があったことではないかと感じています。私たち教職員としては、項目2「授業がよくわかる」の伸びがうれしい限りです。これを糧にして、さらに楽しくわかりやすい授業実践ができるよう、これからも日々研鑽を深めていく所存です。

3ポイント以上のダウンは項目5の「英語学習」についてです。やはり、学習が進むにつれて、特に高学年には「書き(writing)」が入ってくる関係で苦手意識が出てきたように考えます。中学校との接続という観点から必要なことではありますが、英語学習が「楽しい」ものであるという意識を持ち続けられるよう、今後も学習内容等を工夫していきたいと思ひます。

### R5保護者学校評価(前期後期の比較)

質問項目	後期評価点	肯定点	前期評価点
1 学校は、教育の内容や教育方針を保護者に分かりやすく伝えている。	79.3	88%	75.8
2 学校は、教育活動を保護者や地域に積極的に公開している。	81.5	93%	80.7
3 学校は、学校・学級便りなどで学校の様子をよく知らせている。	82.8	95%	81.6
4 学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。	79.3	92%	79.9
5 学習参観等、学校公開の回数と内容は適切である。	75.9	90%	79.9
6 学校の教育環境は、美しく整理・整頓されている。	82.8	100%	85.7
7 学校は、安全面での配慮ができています。	79.3	92%	78.7
8 学校は、いじめ等の問題行動に危機感を持って適切に指導している。	78.0	88%	72.5
9 学校は、わかりやすい授業づくりに取り組んでいる。	79.7	90%	76.6
10 学校は、ICT 機器を有効に活用し、「分かる・できる・楽しい」授業への改善に取り組んでいる。	77.6	82%	73.4
11 学校は、子どもや地域の実態を踏まえた、特色ある教育活動を進めている。	83.6	91%	80.7
12 教職員は、保護者・地域の方に挨拶し、誠意をもって対応している。	86.6	97%	82.8
13 教職員は、子ども一人ひとりに熱意をもって指導に当たっている。	82.8	90%	76.2
14 教職員は、子どもに思いやりや優しい心が育つように指導している。	81.5	86%	73.8
15 教職員は、子どものことについて気軽に相談に応じ、適切に対応している。	79.7	87%	76.2
16 教職員は、子どもの能力や努力を適切に評価している。	79.3	90%	78.7
17 教職員は、子どもの間違っただ行動に対して適切な指導をしている。	78.0	85%	74.2
18 子どもは、学校が楽しいと言っている。	83.6	92%	83.2
19 子どもは、すすんで宿題など家庭学習をしている。	66.4	70%	64.8
20 子どもは、進んで本を読んでいる。	49.6	44%	50.4
21 子どもは、英語の学習を楽しみにしている。	81.0	82%	73.4
22 子どもは、周りの人に思いやりのある行動ができています。	78.0	97%	79.5
23 子どもは、保護者や地域の人に挨拶をしています。	74.1	84%	72.5
24 子どもは、交通ルールやマナーを守っている。	79.7	98%	83.6
25 子どもは、進んで運動をしています。	77.2	75%	70.1
26 保護者は、学校行事や PTA 活動に積極的に参加し、協力している。	74.6	87%	74.2
27 毎日子どもとふれあい、話す時間を設けている。	83.6	98%	84.4
28 学校から配布される文書には、必ず目を通して見ている。	84.1	92%	83.2
29 保護者・地域の方は、挨拶など子どもたちに声かけをしています。	80.2	95%	82.4
前期と比較し、3ポイント以上アップ			
前期と比較し、3ポイント以上ダウン			
評価点:前頁の児童集計と同様に点数化 肯定点:そう思う+大体そう思うの割合			

続きまして、保護者の皆様からいただいた評価結果について見ていきます。

児童評価同様にポイントアップしている項目が多く、特に授業面で評価いただいていることに大変感謝しております。ただ、8割に満たない項目もまだまだありますので、今後も努力を続けていく必要があります。

ポイントダウンしている項目が2点ありますが、「学習公開」については来年度以降の課題として、検討したいと思っておりますし、「交通ルール」に関しては、機会を捉えて学校でも指導していきます。休日の地域での遊び方等について、気になることなどございましたらお知らせください。

最後に、「読書活動」についての評価がなかなか向上しづらいです。読書についての取組は読み聞かせなども含めていろいろと実施してはいるのですが、子どもたちも保護者の皆様も「十分な読書量」を実感しづらいように思います。今年5月の読書量の調査結果(滋賀県の4～6年)を見てみると、1ヶ月に10冊以上読んでいる子どもも一定数いますが、3～5冊という

子どももそれと同数います。つまり、毎週図書館の本を借りて読むという習慣をまずはつけるとよいのではないのでしょうか。以前の学校だよりも書きましたが、高学年でも絵本をゆったり味わって読むことも大切だと私は思います。文章からいろいろなことを想像したり、学んだりするという学びの基本は、データや動画メインの現代においてやはり重要だと考えます。みんなで楽しく本に親しんでいきたいですね。